

# グループA

## ☆グループディスカッション

### 下痢を改善するにはどうしたら良いか

- 油と食物繊維を入れると吸収ゆっくりになるので油と食物繊維を入れるとどうか？
- リーナレン投与速度を落とす。
- 下痢が出していないかチェック。整腸剤を処方してもらう。  
→ 種類を変えてリファシム<sup>®</sup>を止める。
- 水分多くないか
- DM性の神経障害はないのか。
- 食物繊維やとろみ剤などリファインなどで粘性を上げる。
- ガスモチン必要か？

### 認知症の食支援をどうしたら良いか

- 認知症の薬をやめる。(←食事と食べないで内服ではないとも。)
- 食欲増進の薬を処方。
- まきはポスト食ごころ薬下反射を促す(下痢下障害がなければ、  
(シリンジ注入))
- 一時的に胃ろうでの栄養を再開。UP
- 食べ慣れた物を出してみる。(昔食べたものに)
- 一緒に声かけしながら食べる。
- 食事形態はいろいろ試してみる。
- 材料を見せてから調理して食べさせる。
- 味が濃いもの(はちみつにもの)を出してみる。
- 口のトラグがなければ、確認(口内炎やまず)
- 下痢下評価

下痢を改善するにはどうしたら良いか

- ・下痢の原因を探る
- ・半固形物の経腸栄養にする
- ・経管も流すスピードを遅くする。

認知症の食支援をどうしたら良いか

- ・お食事自体を楽しんでもらう  
→好きなものを家族・友人と。  
→味を濃いものにする(甘い物)  
(腎機能もみながら)
- ・おにぎり等つまんで食べやすい物にする
- ・自身で作るor開きながら作った物を  
たべてもらう
- ・見栄え(食材の)をよくする
- ・少しの量ずつ出す(小皿で)
- ・外食!(環境を整える) ~~量~~量の調整
- ・介助力を(食事動作)にする。

下痢を改善するにはどうしたら良いか

- 1. 必要栄養 カロリーはどうか、  
経管栄養の量が 多い場合は  
減らす
- 1. 経管栄養が合っているのかどうか、  
別の物への変更
- 1. 経管栄養の投与速度を調整

認知症の食支援をどうしたら良いか

- 1. 本人さんが食べる物を 食  
 ※ 甘い物、飲み物 感<sup>触</sup>ばい<sup>い</sup>  
 温度
- 1. 口腔内の状況を確認
- 1. 姿勢、食べやすい姿勢を
- 1. 薬のチエック 副作用で食思不振は  
出ないか、
- 1. 本人さんの生活レベルに合わせる(睡眠、排便)
- 1. 環境設定 家族と外食  
 食堂で他の利用者さんと一緒に
- 1. 気分転換 好きはことを行う  
 相談、ラジオ、テレビ
- ・ BPSDを抑える薬の内服。(ウソタミン、グラマール)



## 下痢を改善するにはどうしたら良いか

- ・ 下り止めを処方する(増量)  
ラックビー
- ・ 口腔内の汚れはどうか?
- ・ リーナレン, 食べ物の温度は冷たくないか?
- ・ 胃3分の流すスピードは?
- ・ リーナレンが原因?
- ・ そもそも腸に何か病気がないか?

## 認知症の食支援をどうしたら良いか

- ・ 認知症の予防薬も処方する。
- ・ えん下の評価をする。
- ・ 冷凍食品に食ってきたのは?
- ・ 食べる場所、位置を変える
- ・ 昔、食べてたものに挑戦してみる
- ・ ドライブ、外食してみる
- ・ 心配事があるか、食欲低下か?
- ・ あげる家族を変えてみる。

## 下痢を改善するにはどうしたら良いか

- ・薬剤の量が多すぎなのではないか？ 減量。
- ・食物繊維が足りないもしくは多いせいで、不消化となっているのでは？
- ・リナロンという米国産の補食食品の使用はどうか？
- ・経管栄養が問題か食事が問題なのかを見極めるための  
 いったい食事を中断してみよう。

## 認知症の食支援をどうしたら良いか

- ・好きな物を中立的に用意をす。
- ・認知症林のコントロール ... 肉販
- ・気分転換を兼ねて外出 { スーパーやデパート地下で  
 試食を食べる。 }
- ・昔よく行った食堂やレストランに行ってみる。
- ・味を濃くする。 A1ソースとかたっぷり)
- ・香りが料理 (なじみの味をさがしてあげる)

## 下痢を改善するにはどうしたら良いか

水分は 600 ml / 日 .

- 経管栄養の温度を調整する。(室温程度)
- 経管<sup>栄養</sup>のおとす速度を調整する。
- 薬の調整をする。
- 栄養剤自体を変える。
- リーナレンは濃厚で下痢を起こしやすい
- ~~水分~~ 半固形の栄養剤にする。

## 認知症の食支援をどうしたら良いか

- 介助する人との関係性で
- ✕ 食思が改善することもある。
- 亜鉛で味覚障害の改善を図る。
- 食事に集中させすぎない。  
気をとらしながら食べさせてみるの  
どうか。
- 何でもいいかゝら好物を  
一つでも探す。
- 虫歯など治療可能な疾患の  
見落としはないか。